

高松医療センター

Medical News

基本理念

私達は、患者様とその御家族の立場に立った医療の推進に努めます

消化器内科

医長 松木美知子

はじめに

平素は、当院の診療に多大なご協力・ご支援を頂き、ありがとうございます。消化器内科に関し、紹介させて頂きます。消化器内科専任の医師は1名ですが、内科及び外科の医師と協力をして、診療にあたっています。消化器疾患は、食道、胃、十二指腸、大腸などの消化管疾患の他に、肝臓、胆嚢、膵臓など多岐にわたっており、すべてをカバーするのは困難であるため、特に消化管疾患の診療に力を注いでおり、年間1000件以

上の内視鏡検査を行っています。

当院のような中規模病院のメリットとして、小回りが利くこと、スタッフの異動が少ないことにより、患者様の検査、診療に対する安心感が得られやすいことなどがあると思われま。中規模病院のメリットを最大限に生かして診療レベルを上げ、患者様の満足度向上のため努めたいと考えています。

内視鏡検査

当院の内視鏡機器は、オリンパスのハイビジョンスコップ、経鼻スコップ、拡大内視鏡を備えており、上部消化管内視鏡検査は平日の午前中に毎日、大腸内視鏡検査は週4回(月、火、木、金)それぞれ行っています。

大腸内視鏡検査は午後からの検査ですが、下剤服用のため朝来院して頂き、専用の内視鏡待合室で下剤を服用して頂いています。院内での下剤服用のため、服用途中に腹痛、嘔気や嘔吐が出現してもスタッフがすぐ対応できます。また、何度も検査を受けられた経験があり、しっかりした患者様については、希望により自宅での下剤服用も可能としています。

近年は、楽に検査を受けたいという希望が増えており、こうした要望に対しては、鎮静剤を使った検査も行っています。但し、この場合、自家用車を運転しての帰宅は危険が伴うため、ご家族の送迎等での帰宅を



内視鏡室

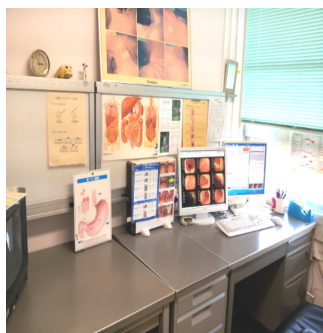
お願いしております。

内視鏡検査中は鎮静剤の使用の有無に関わらず、全例、脈拍、血圧、血中酸素飽和度のモニタリングを行っており、安全に検査が実施できるようにしております。併せて検査中

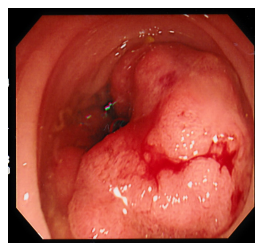
には、患者様の前にモニターを設置し、患者様にもリアルタイムに画像を見て頂けるようにしています。検査終了後は医師説明室でモニターを使って患者様に検査結果を説明しております。



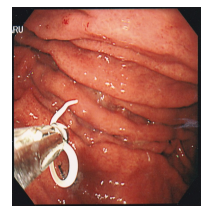
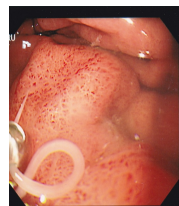
内視鏡待合室



医師説明室



大腸内視鏡検査にて発見した大腸癌



激しい腹痛のため行った胃カメラにて発見されたアニサキス

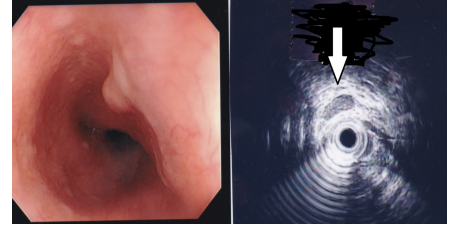
患者様の希望によっては、上部消化管内視鏡検査と大腸内視鏡検査を同日に行うことも可能です。また、予約が無くとも、当日絶食で来られた患者様や、吐血や下血のケースには出来るだけ早急に検査を受けて頂けるよう、臨機応変に対応しています。



ヘリコバクターピロリの検査希望の患者様には、予め内視鏡検査を受けて頂き、悪性疾患の有無の確認をした上で、ヘリコバクターピロリの検査を行い、陽性であれば除菌治療を行っています。

なお、平成21年5月にNBI (narrow banding image, 狭帯域光観察、粘膜表面の血管の走行状態を強調) を導入、拡大内視鏡と組み合わせる事で、より高い診断精度が得られるようになりました。

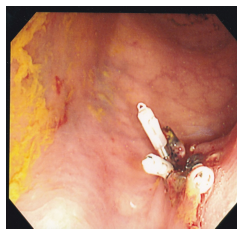
また、腫瘍の深さの診断や粘膜下腫瘍の診断に有用な超音波内視鏡装置を平成21年12月に導入しております。



超音波内視鏡

内視鏡治療

大腸内視鏡検査時にポリープが見つかった場合は、その場でEMRもしくはポリペクミーを行い、安静のため1泊入院をして頂いています。消化管出血に対しては、主としてクリッピングで止血術を行っています。



クリップによる止血術

また、内視鏡による異物除去術（義歯、PTP薬剤、虫体など）や経鼻内視鏡を用いたイレウス管留置、経鼻胃管の挿入も行っています。

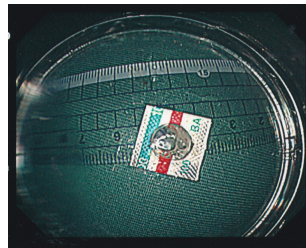
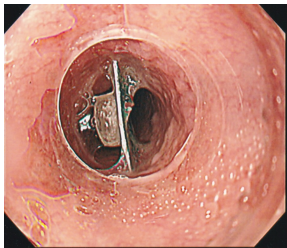
嚥下障害を有する患者に対する胃瘻造設術（PEG）については、外科と協力して施行しています。



胆・膵関連については香川大学医学部消化器・神経内科の胆・膵班の医師にご協力頂きERCP等の検査、治療を行っています。



ERCP下胆道ステント留置



PTP薬剤の誤飲

地域医療連携

近年、先生方からのご紹介による内視鏡検査のご依頼が増加しております。内視鏡検査についても地域医療連携室が窓口となり、ご紹介による検査予約を承っております。

患者様は検査当日に来院して頂く事で、無駄な負担をかけず、またご紹介頂きました先生方には、検査終了後、検査結果を郵送させて頂いています。

検査のご依頼は地域医療連携室までお気軽にご連絡下さい。よろしくお願い申し上げます。



松木医師（中央）と中材・手術室スタッフ

地域医療連携室

TEL : 087-841-2162

FAX : 087-841-2178

	月	火	水	木	金
診察日			○ PM		
胃カメラ	○	○	○	○	○
大腸ファイバー	○	○		○	○

お電話お待ちしております。



部門紹介 中材・手術室

中材・手術室は、現在看護師長、副看護師長を含めた看護師4名で、手術・内視鏡・心臓カテーテルの検査・治療の介助業務、および患者の治療・看護に必要な器材・医材の供給管理を行っています。

手術室では、外科と整形外科手術を中心に年間約130件の手術を実施しています。

手術室看護師は、手術を受けられる患者様への術前訪問時の対話の中で、手術に対する様々な不安や心配を聞き取り、その軽減に努めると共に、患者様が少しでも安心して手術や検査に臨めるように援助を行っています。術前訪問で得た患者情報は、術中看護に活かし継続看護を行っています。



手術室

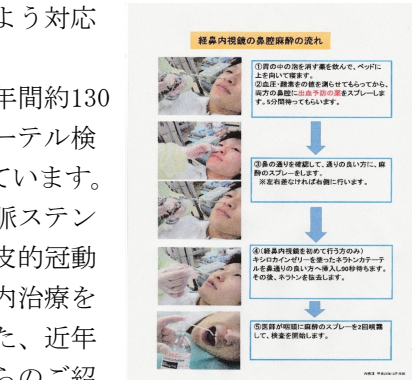
内視鏡室では、消化器内科の上部・下部消化管や呼吸器内科の気管支内視鏡検査等を実施しています。

経鼻内視鏡検査を希望される患者様には、パンフレットを使用し前処置を分かりやすく説明を行い、安心して

検査を受けられるよう対応に努めています。

アンギオ室では、年間約130件の心臓・下肢カテーテル検査および治療を行っています。治療は、経皮的冠動脈ステント留置術を含めた経皮的冠動脈形成術や末梢血管内治療を行なっています。また、近年は地域の医療機関からのご紹介による、透析患者様のPAD（閉塞性下肢動脈硬化症）による末梢血管内検査や治療件数が年々増加傾向にあります。

私達は「患者様が安全で安楽な手術・検査を受けられるよう



経鼻内視鏡検査パンフレット



アンギオ室でのカテーテル検査うに環境を整える」ことを目標に、一人ひとりが相手の立場に立ち、患者様にとって安全・安楽な援助が行えるよう取り組んでいます。紹介された患者が安心して検査を受けられるように今後も援助していきたいと思っています。

平成26年手術実績

外科	胃悪性腫瘍手術
	直腸悪性腫瘍手術
	開腹胆嚢摘出術
	腹腔鏡下胆嚢摘出術
	胆嚢癌悪性腫瘍手術
	乳がん手術
	内痔核硬化療法
	鼠径ヘルニア修復術
	C Vポート造設術
	胃瘻造設術
	気管切開術
整形外科	椎弓切除術
	CHS
	観血的骨接合術
	人工骨頭置換術
泌尿器科	人工股関節置換術
	尿道ステント挿入 尿管ステント交換

手術室看護師

私たちは、手術を受けられる患者様により寄った看護が行えることをモットーに日々看護しています。

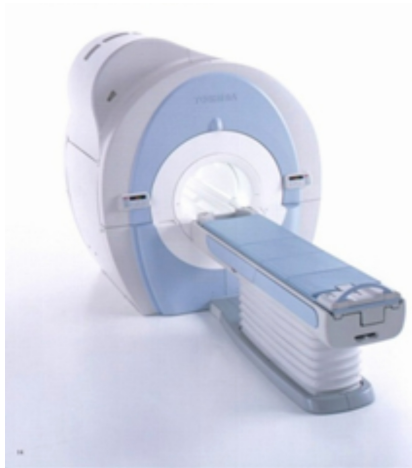
術前訪問を行い、患者様と信頼関係を持つことで患者様に、安心して手術を受けていただけるよう取り組んでいます。



中央材料室で物品管理

手術患者さんへの術前訪問





12月1日より MRI装置を更新致します！

1.5T EXCELART Vantage Atlas

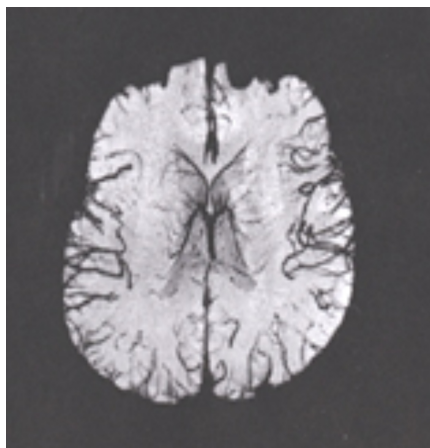
10月よりMRI装置の機器更新、12月1日より稼働開始予定としております。装置は、1.5T EXCELART Vantage Atlasで、これまでの装置よりも検査時間が短縮され、検査時のパルス音も従来よりも静音化されております。また、非造影による血管描出技術、ソフトで軽いコイルなど患者様の検査時にかかる負担軽減にも努めております。

ソフトウェアも多彩機能を装備し各症例に対応する撮像シーケンスを施行できます。電子カルテ導入、PACS更新と合わせ、安全で効率良く画像情報を提供できるようになります。

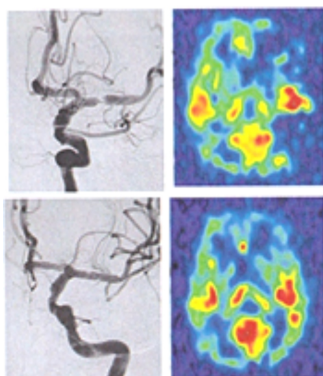
画像検査のご予約につきましては、当院地域医療連携室までご連絡頂けましたら、患者様のご希望に沿えるようご予約を承りますので、問い合わせからでも地域医療連携室までお気軽にご連絡下さい。



非造影によるMRA（腎動脈）Time-SLIP

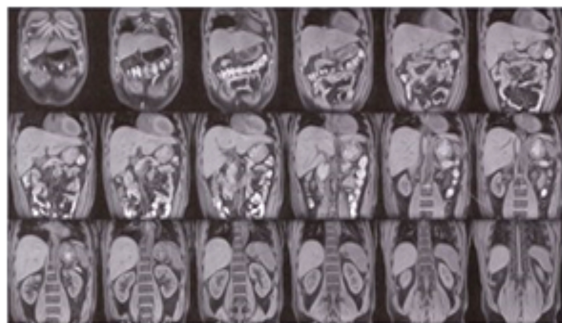


Flow Sensitive Black Blood
T2*コントラストに動静脈の情報
脳出血や脳梗塞の診断に有用です



ASTAR

造影剤を使用しないPerfusion画像



Quick3D's 息止め (25s) 4mm x 50

撮像シーケンスの対応ソフトウェア

- Basic Software
- DTI R6パッケージ
- EPI R6パッケージ
- Cardiac R6パッケージ
- DRKS R6パッケージ
- Soft R6パッケージ
- SuperFASEパッケージ
- JET R7パッケージ
- MRA R6パッケージ



独立行政法人 国立病院機構
高松医療センター
〒761-0193
香川県高松市新田町乙8
TEL:087-841-2146 FAX:087-841-2178
URL:<http://www.hosp.go.jp/~takamath/>

編集後記

今年は昨年よりも秋の季節を感じられる気候が続いています。気候も朝晩がすっかり肌寒くなって参りました。巷では小児を中心に新たな感染症が話題になっています。これからの時期は色々な感染症が流行し始める時期です。みなさんもお気をつけて☆

発行責任者: 病院長 細川 等 編集責任者: 地域医療連携室